

大 京 東
都 池 東
研 小 京

デザインで紙面明解

あすまで
横浜で発表
本社と共同制作も

情報を文章だけでなく、グラフィックスを組み合わせて分かりやすく伝えるデザイン方法「インフォグラフィックス（IG）」に取り組み東京都大環境情報学部（横浜市都筑区）小池星多准教授の研究室が7日まで、アートフォーラムあさみ野（同市青葉区）で研究成果を発表している。昨年8月に神奈川新聞社と3年生が共同制作した衆院選関連紙面も展示し、新聞でも注目されているIGの手法について報告している。

同研究室の3、4年生各10人が、1年間の研究成果を、コンピューターグラフィックスを使ってパネルに分かりやすくまとめて展示している。

昨夏の衆院選で若者に投票行動を促した神奈川新聞特集紙面の共同制作では、新聞社側と会議を重ねてテーマやコンセプトを決め、複数のラフスケッチを手書きしながら、IGを練り上げていった経緯を紹介。

全国紙のグラフィックス担当者へのインタビュー調

情報デザイン

分かりやすく伝え 大学研究室が成果展示



情報をグラフィックスを使って分かりやすく伝えるデザイン方法「インフォグラフィックス」について、東京都市大・小池准教授の研究室が成果を展示。



神奈川新聞社と共同制作した特集紙面などでIGを紹介している東京都市大・小池准教授の学生ら

アートフォーラムあさみ野

「ネットではニュースの速報化が進む中、新聞には詳細な解説が求められ、IGはその手助けになる」と提案している。

4年の高田智仁さん(22)は「ネットではニュースの速報化が進む中、新聞には詳細な解説が求められ、IGはその手助けになる」と提案している。

無断転載禁止

著作権は神奈川新聞に帰属します

転載承認済

東京都市大学グループ
学校法人 五島育英会